



# 青南を みんなの 心のふるさとに 心の根っこを育てよう

令和3年度

港区立青南幼稚園  
園長 新山 裕之

## <今年度もよろしくお祈いします>

今年度も園長を務めさせていただく新山（あらやま）です。どうぞよろしくお祈いします。コロナ禍での生活は、思うようにできないことも多いのですが、私たち大人が物事を前向きに受け止める構えを手本として子どもたちに示したいと思います。健康管理と感染対策を確実に進め、新しい生活様式を工夫しながら、幼児教育の本質を大事にした保育を進めていきます。



桜と楓（かえで）は今年も元気でした

## <自然との関わりから学ぶ>

今年は季節の移ろいが早く、園庭の桜は終業式には見頃を迎え、4月の入園式の日に、わくわく池でギンヤンマの羽化が見られました。都心とは思えない恵まれた自然環境を生かし、今年度も多様な直接体験ができる実践を工夫していきます。園内研では「自然って、おもしろい！—小さな発見から豊かな経験につなぐ保育の在り方—」をテーマに、日々幼児のつばやきや気付きを教師自身が共感する感覚を鍛え、幼児と共に保育を構想するおもしろさを探っています。



表参道でギンヤンマの羽化が見られるなんて！

## <直接体験からの学びこそ>

今は電話やスマホで何でも簡単に手に入る世の中になりました。しかし、実際は花も野菜も種をまかなければ育ちません。土づくりから始め、少し先の姿を楽しみに、育つ過程を見守ったり世話をしたりする中で、生命の不思議さを知り、開花や収穫を喜ぶことは、幼児期にこそ直接体験させたいことです。子どもはもちろん、我々大人も自然や子どもとの関わりを通して子育てやときには自身の生き方を学ぶことさえあるものです。



自然との関わりから多くのことを学んでいます

## <幼児教育の本質を追求する>

身近な大人との信頼関係を土台に、子ども自身の内から育とうとするものを大切に育みます。子どもたちの生活すべてが育ちの場になります。そして、遊びが学びの原点です。恵まれた自然との関わりを大事にしながら、幼児教育の父である倉橋惣三から大事に受け継がれてきた日本の幼児教育の本質を守りつつ、幼児期にふさわしい遊びや生活を子どもたちと共に創り出していきます。今年は倉橋惣三の言葉から学ぶ工夫もしていきます。



自然物の世話や手入れも子どもたちと共に

幼児期は、人としての根っこを育てる時期です。土作りや水やりなどはしますが、育つ力は子ども自身の内にあるのです。今年も皆さんと一緒にコロナ禍でもできることを工夫しながら「青南を みんなの 心のふるさと」にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いします。

### 青南の 二十四節気

昨年度ホームページ  
で紹介してきた小さな

コラム「みちくさ いたすら こどものじかん」は今年の自然や子どもたちの様子を紹介しながら、去年と対比しながら再度紹介しています。

都会であっても、時々季節感を身近な自然から感じることはできます。自然の営みや移ろいを感じ取るセンサーの感度を上げていきたいものです。そして、表参道・南青山の街で出会うことができる自然とのかわりや自然からの贈り物をうまく取り入れていくことで、大人も子どもも感性を磨き、遊びや生活を豊かにしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いします。